

各地区共通の特定事業

A. 公共交通特定事業

【鉄道（車両／車内）】

事業主体：JR 東日本(株)

整備スケジュール

項目	事業内容	上半期 (2026~2029 年度) (R8~R11 年度)	下半期 (2030~2033 年度) (R12~R15 年度)	備考
車両	利用者空間(車椅子やベビーカーが使いやすい空間を確保した車両の運用(一部の車両を除く)			継続実施
人的対応・心のバリアフリー	車椅子操作や視覚・聴覚等に障がいがある方など利用者への駅、乗務員を含めた社員教育の実施			継続実施

※JR 東日本では、列車に乗降する際の介助を事前にWebで申込みできるサービス「JRE おでかけサポート」サービスの提供線区を一部の駅を除いた全線区へ拡大した。

A. 公共交通特定事業

【バス（車両／車内）】

事業主体：新潟市

市内バス運行事業者
(新潟交通(株)ほか)

整備スケジュール

項目	事業内容	上半期 (2026~2029 年度) (R8~R11 年度)	下半期 (2030~2033 年度) (R12~R15 年度)	備考
車両	ノンステップバス等、バリアフリー化された車両への代替を促進する			継続実施
人的対応・心のバリアフリー	バス停への正着やニーリング(車両を傾けて段差を緩和する)を徹底する			継続実施
	バス停で車外に向けてわかりやすく行き先のアナウンス等を行う			継続実施
	車椅子やベビーカー等の多様な利用者への適切な対応について乗務員の教育を実施する			継続実施
	バス利用者に対し、バス利用のマナー・ルール等について、利用者への周知・啓発を行う。(ベビーカー利用者へのマナー・ルールの周知、乗客のベビーカー利用者への理解促進)			継続実施

A. 公共交通特定事業

【タクシー（車両／車内）】

事業主体：新潟市ハイヤータクシー協会
(市内タクシー事業者)

整備スケジュール

項目	事業内容	上半期 (2026~2029年度) (R8~R11年度)	下半期 (2030~2033年度) (R12~R15年度)	備考
車両	車椅子利用者も利用できる福祉タクシーやユニバーサルデザインタクシーの導入を促進する			継続実施
人的対応・心のバリアフリー	車椅子やベビーカー等の多様な利用者への適切な対応について乗務員の教育を実施する			継続実施
	タクシー利用者に対し、タクシー利用のマナー・ルール等について、利用者への周知・啓発を行う。(ベビーカー利用者へのマナー・ルールの周知、乗客のベビーカー利用者への理解促進)			継続実施

B. 建築物特定事業

【市内の建築物】

事業主体：新潟市

整備スケジュール

項目	事業内容	上半期 (2026~2029年度) (R8~R11年度)	下半期 (2030~2033年度) (R12~R15年度)	備考
意識啓発	建築物のバリアフリー化の推進に関する周知・意識啓発			継続実施
情報共有	重点整備地区における新設生活関連施設の庁内情報共有			継続実施

C. 教育啓発特定事業

事業主体：新潟市

整備スケジュール

項目	事業内容	上半期 (2026~2029 年度) (R8~R11 年度)	下半期 (2030~2033 年度) (R12~R15 年度)	備考
障がい理解の周知啓発	心のバリアフリーの推進に向けた市民向け講演の開催や、市職員の段階的研修の実施			継続実施
	外見からは分かりづらても援助や配慮が必要であることを示す「ヘルプマーク」など、障がいに関するシンボルマークの周知啓発の実施			継続実施
教育活動での普及啓発	小中学校において障がい当事者などを先生役として招く福祉教育を実施			継続実施
	共生社会の理解を深めるためのワークショップを市内の大学と合同で開催			継続実施

※このほか、新潟市社会福祉協議会において、市内の高等学校・専門学校や大学で、高齢者・障がい者疑似体験や講話等の福祉教育を実施している事例などがある。